

平成 26 年度 横川中学校 学校評価書

網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（１）基本目標「自立と貢献」

豊かな心と健やかな体，主体的に考え行動する力，互いに協調して根気強く取り組む態度を培い，将来，社会人として「自立と貢献」ができる人間を育成する。

（２）具体目標（生徒の指標）

進んで学び主体的に行動する生徒

心豊かで思いやりのある生徒

心身ともに健康で気力のある生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- ・生徒に生きる力を育むことを目指し，「知・徳・体」の教育を調和的に展開することにより，確かな学力や自ら学び，考え，行動する力，豊かな心，健康な心身をもった人間の育成に努める
- ・人間尊重の精神を基盤に，多様な資質や個性を持つ生徒に対し，正しい生徒理解や明確な方針に基づき，自他を尊重し健全な社会生活を営むことのできる人間の育成に努める。
- ・教職員としての使命を自覚し教師自らが研鑽に努め，協調して教育活動を推進するとともに，保護者や地域との連携を深め，より一層信頼される学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） 「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （１）豊かな人間性，主体的に生きる力を育む教育の推進
- （２）「確かな学力」を確実に身に付けるための学習指導の推進
- （３）健やかな心と体を育てる教育の推進
- （４）新しい教育課題に，協調して取り組む教職員の資質向上
- （５）○小中学校，家庭，地域との連携による信頼される学校づくり

[横川地域学校園教育ビジョン]

いじめゼロ・あいさつ・時間・言葉づかい

4 今年度の重点目標（短期的視点） 「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

- （１）学習指導の充実
- （２）○保護者・地域との連携の推進及び小中一貫教育の推進
- （３）教職員の資質向上

【 学 習 指 導 】

基礎・基本の定着を図るための「わかる授業」の展開と家庭学習の充実を図る学習指導

- （１）基礎的・基本的事項の定着を図る「わかる授業」の展開
- （２）全教科における思考力，表現力を育てる言語活動の充実
- （３）家庭学習の充実
- （４）豊かな心の育成を目指す道德教育の充実
- （５）読書活動の充実
- （６）主体性を育てるための特別活動
- （７）特別支援教育の充実

【 児 童 生 徒 指 導 】

～ルールやマナーを守り，思いやりの心を持って行動する児童生徒の育成～

- （１）基本的生活習慣の徹底
- （２）問題行動等の情報の共有化
- （３）良好な人間関係の育成（コミュニケーション力の育成）
- （４）○家庭・地域との連携・協力
- （５）○横川地域学校園の取組

【健康（保険安全・食育）・体力】

自他の命を大切に，安全・健康・体力の向上に取り組む生徒の育成

- （１）安全教育（特に，交通安全）
- （２）健康教育
- （３）食育
- （４）体力向上
- （５）清掃
- （６）○横川地域学校園の取組

5 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 「自分は今の学校が好きである」生徒の肯定的回答 80%以上	学校行事・集会等では、生徒会活動の活性化に努め、生徒の主体的な活動を生かした指導にあたる。 校内の掲示物を工夫し、生徒の活動を紹介すると共に明るい雰囲気を作り出す。	B B	【達成状況】 A 1 生徒の肯定的回答 85.7% ○ ・肯定的回答が生徒は 80%以上、保護者も約90%であり、目標を達成したと考えられる。 【次年度の方針】 ・これまでの取組を継続し、学校行事や集会で生徒会や学級委員が核となり生徒の主体的な活動を推進するとともに、リーダーの育成に力を入れる。
	A 2 教職員は協力し、生徒の良いところを認め、教えるべきことを熱心に指導している。 【数値指標】 「先生は大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」生徒の肯定的回答 80%以上	「わかる授業」「楽しい授業」をめざし、明確な課題設定の工夫に努める。 生徒一人一人の理解に応じたわかりやすい丁寧な指導にあたる。	B B	【達成状況】 A 2 生徒の肯定的回答 89.9% ○ ・肯定的回答が生徒、保護者共に 80%以上あり、目標を達成したと考えられる。 【次年度の方針】 ・「わかる授業」「言語活動の充実」をめざし、お互いに授業を公開し、授業研究を行い、教員の授業力を向上させ、明確な課題設定の工夫に努める。 ・生徒一人一人の理解に応じ、習熟度別学習を行い、分かりやすく丁寧な指導を行う。
	A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。 【数値指標】 「生徒は授業と生活の決まりやマナーを守って生活している」 生徒の肯定的回答 80%以上	「授業の4つのきまり」「学習の仕方」の徹底とマナーを守ることの大切さを指導する。 道徳や学級活動における指導内容の中に明確に位置づけて指導する。	B B	A 3 生徒の肯定的回答 73.9% ・生徒の肯定的回答は、昨年度より 3.5%下がり数値指標を達成できなかった。保護者の回答は、数値目標を超えたものの 82.2%と昨年より 3.7%減少した。教職員の回答も 22%下がっており、全体的に評価が下がっている。 【次年度の方針】 引き続き、「学習の4つのきまり」の再徹底及び学習態度や生活態度のきまりやマナーをしっかりと身につけさせる指導を継続的に行っていく。特に、「タイム着席」「起立、礼」「指名されたらハイ」「人の話を最後まで聴く」のさらなる実践化を図り、生徒が主体的に行動しようとする態度の育成を図る。道徳や学級活動の時間を活用し、規範意識を高める授業実践を行うなど基本的生活習慣の定着に努めていく。

A 4 教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。 【数値指標】 「先生方の授業は、わかりやすく一人一人に丁寧に教えてくれる」生徒の肯定的回答 80%以上	学力向上非常勤講師を活用して、基礎・基本の定着と自主学習ノートを使った効果的な家庭学習の指導に努める。	B A 4 生徒の肯定的回答 82.3% ○ ・生徒の肯定的回答は、昨年度より 4.3 ポイント低くなったが、数値指標は達成できた。教職員の肯定的回答は 94.4%であるが、保護者の肯定的回答は 75.2%と昨年度より 7 ポイント向上したがまだ低い数値である。 【次年度の方針】 引き続き、個に応じた学習指導の体制を整えていくとともに、基礎・基本の定着のため、学力非常勤講師を活用し、授業で T T やコース別習熟度コース別学習を行うなど、生徒一人一人に個別対応できる授業の工夫をしていく。また、自主学習を使った効果的な家庭学習の指導も工夫していく。
A 5 学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる。 【数値指標】 「先生方は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる」 生徒の肯定的回答 80%以上	いじめアンケートの実施やスタンダードダイアリーを活用して、いじめの早期発見・早期対応に努める。 いじめ対策委員会を通していじめの実態の公表や対策を検討する。	B A 5 生徒の肯定的回答 94.1% ○ 教職員・地域が肯定的回答は、100%であり、生徒も 90%を超えた。保護者は 74.5%だった。 【次年度の方針】 ○ A10 の「あいさつ」・ A11 の「言葉づかい」同様、横川地域学校園の共通スローガンにもなっており、今年度の取り組みを継続し、より一層「いじめを許さない」意識を高められるよう努力していく。いじめの未然防止及び早期発見及びいじめに関する取組状況を保護者に積極的に発信するとともに、学校と保護者・地域が連携・協働していじめのない学校づくりに努める。 夏休み明けに、「いじめ等問題行動対策委員会」を開催し、生徒の健全育成に向け、P T A 及び保護司や青少年育成会等の関係機関と連携の再確認及び情報交換に努める。
A 6 学校の日課、授業、行事などの教育課程は、適切に実施されている。 【数値指標】 「学校の日課、授業、行事などは適切に実施されている」 保護者の肯定的回答 80%以上	教育課程で適切に時数確保がなされているが、週案・教科部会等を通して確認・調整を行う。 学校行事等については、P D C A サイクルで評価、改善等を行う。	B 【達成状況】 A 6 保護者の肯定的回答 96.5% ○ ・保護者・教職員の肯定的回答が 90%を超えており、教育課程は適切に実施されている。 B 【次年度の方針】 ・学校行事等では、職員会議で計画、立案、調整を行い、終了後 P D C A サイクルで評価、改善等を行う。

A 7 学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している。 【数値指標】 「学校は学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」 保護者の肯定的回答 85%以上	学期毎に学校公開【オープンクラスウィーク】を実施し、土曜日を加えることで、保護者や地域の方々が来校しやすい環境を作る。 「学校だより」「進路だより」「生徒指導だより」等の通信を定期的に発行する。	B 【達成状況】 A 7 保護者の肯定的回答 93.4% ○ ・保護者の肯定的回答が 90%を越えており、土曜授業で P T A 総会や校内持久走大会を実施し、保護者が保護者が参加しやすいようにした。 B ・学校だより、学年だより、進路だより、保健だより、P T A だより等で学校の情報を発信した。 【次年度の方針】 ・オープンクラスウィークをオープンスクールとして、授業参観と行事参観を限定することで、保護者や地域の方々が来校しやすい環境を作る。 ・保護者会の時には、D V D を活用して生徒の活動の様子を紹介する。
A 8 学校は、家庭・地域・企業等が連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 「学校は家庭、地域、企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている」 保護者の肯定的回答 80%以上	施設訪問、社会体験学習、小学校との交流等を通して、地域との連携を図る。 1 2 回に及ぶボランティア活動を通して地域と連携・協力した教育の推進を図る。	B 【達成状況】 A 8 保護者の肯定的回答 90.1% ○ ・保護者の肯定的回答が昨年に続き 90%を越えた。年 5 回の P T A 役員会の開催や行事を通して地域と交流ができたことが肯定的評価に繋がったと考えられる。 B 【次年度の方針】 ・体育祭、文化祭、施設訪問、社会体験学習等を通して、地域との連携を図る。 ・ボランティア活動を通して、地域と交流を図っていく。
A 9 学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である。 【数値指標】 「学校は清掃がしっかり行われ学習しやすくきれいで安全な環境である」 生徒の肯定的回答 80%以上	教師は生徒と一緒に清掃をやる中で清掃指導し、また、教師の安全点検でより良い環境作りに努める。 生徒会活動（美化委員会）による清掃状況点検を月に 1 回程度実施し、その改善に努める。	B 【達成状況】 A 9 生徒の肯定的回答 81.1% ○ ・生徒の肯定的回答は、昨年度より 6.2%下がっているが目標は達成できた。しかし、教職員の回答が 17%下がっているのをはじめとし、全体的に評価が下がっている。 B 【次年度の方針】 A 場所によって、一人の教員が担当する範囲が異なることにより、目が十分行き届いていない場所が見られる。今後、再度清掃担当の配置を検討し、より細かな清掃指導ができるようにする。また、生徒の清掃分担区を半期ごとにすることで、清掃内容の定着を図り、責任を持って清掃活動を行うよう指導する。各場所とも、清掃始まり終わりの挨拶を徹底し、時間を意識した清掃指導を行う。 B 今年度十分行えなかったので、美化委員会を中心とした定期的な点検を実践する。

		定期的な登校指導や生徒指導だより等を通じて、家庭や地域との連携を図りながら、交通ルールやマナーを守ろうとする意識の向上を図る。	B B 1 生徒の肯定的回答 95.6% ○ 教職員・地域の肯定的回答は 100%であり、生徒も 90%を超え、昨年度より 3.1%増加した。保護者の回答も 89.9%と数値目標をこえ、昨年度より 2.2%増加した。 【次年度の方針】 交通ルールやマナーの厳守及び安全な登下校の確保は、本校の最重要課題の一つである。全教職員の共通理解の下、毎月の登校指導や随時、「並進禁止」「左側一列走行」等を具体的に注意喚起するなど交通安全の必要性を繰り返し粘り強く指導していく。 今後とも、全校集会や学級での指導はもちろんのこと、家庭や地域の協力の下、安全な自転車走行や生命尊重の意識の高揚に努めていく。
教育活動の状況	生	A 10 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 「生徒はあいさつをしている」 生徒の肯定的回答 80%以上	A A10 生徒の肯定的回答 85.5% ○ 生徒の肯定的回答は、数値目標を達成した者の昨年度より 5.3%下がった。教職員・保護者とも数値目標に届かなかった。 【次年度の方針】 ○小中一貫教育の取組として、引き続き地域学校園の「小中交流あいさつ運動」「あいさつ運動強化週間」及び魅力ある学校づくり地域協議会と連携し、地域ぐるみであいさつの励行に努めていく。また、生徒会を中心とした「先行あいさつ」のさらなる実践化を図り、学校の活性化に努めるとともに生徒の豊かな心を育てていく。
	活	A 11 生徒は、時と場に応じた言葉づかいをしている。 【数値指標】 「生徒は場に応じた適切な言葉づかいをしている」 生徒の肯定的回答 80%以上	A A 1 1 生徒の肯定的回答 77.1% 保護者の肯定的回答が 72.2%と昨年より 1.5%上がり、地域住民は 100%で良好であったが、生徒の肯定的回答が 4.3 ポイント下がり、教職員の肯定的回答が 55.6%と低い値になっている。 【次年度の方針】 ・全職員の共通理解の下、全教科・領域で言語活動の一層の充実を図り、適切な言葉遣いや発表の仕方ができるよう、教師が模範例を示すなど、その場その場で繰り返し指導・助言していく。
		B 2 教職員は、いじめアンケートや教育相談などを適宜実施し、生徒の悩みに適切に対応している。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、いじめアンケートなどの調査を実施し、生徒の悩み等に適切に対応してくれる」 生徒の肯定的回答 80%以上	B B 2 生徒の肯定的回答 89.0% ○ 教職員・地域が肯定的回答は、100%であり、保護者は 83.9%だったが、昨年より 0.8%向上した。 【次年度の方針】 アンケートだけに頼ることなく、普段の生徒の動向の要観察、生徒からの情報や信頼関係の構築を図っていく。また、小さなトラブルにも目を向け、教職員間の情報交換を密にアンテナを高くして、「いじめは絶対に許さない」という共通認識の下、悩みや不安等を気軽に相談できる教師と生徒の望ましい人間関係の育成に努める。 道徳や学級活動の時間を活用し、思いやりや規範意識を高める授業実践に努めていく。

健康・体力	A12 生徒は、休み時間や放課後などに積極的に運動をしている。 【数値指標】 「体育の授業において、どの種目に対しても積極的に取り組んでいる」 生徒の肯定的回答 80%以上	体育的行事に意欲的に取り組む実態があるので、企画運営にも参画させ、更に、積極的に取り組ませる。 昼休み、校庭で自由な発想で活動し、積極的に体を動かすことを呼びかける。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答率が 76.4%と、昨年度と比べわずかではあるが下降した。 【次年度の方針】 体育的行事に意欲的に取り組み、休み時間には自由に運動する実態があるので、さらに安全に気を付けながら積極的に運動するよう呼びかける。 生徒が不得意な種目に臨むとき、取り組む姿勢や技能の伸びを見取って賞賛し、自信を与えることで積極性を伸ばすように努める。
	A13 生徒は好き嫌いなく給食を食べている。 【数値指標】 「自分の子どもは朝ごはんを食べ、好き嫌いなく食事をしている」 保護者の肯定的回答 80%	毎日の給食で、地産地消に心がけた献立を工夫し、食育の充実を図る。 毎月の「給食だより」で職の大切さを家庭にも伝える。	B 【達成状況】 保護者の肯定的回答が 73.1%、生徒の肯定的回答が 71.7%と、昨年度に比べいずれも下降している。目標が達成できなかった。 【次年度の方針】 地産地消・食育の充実を図るために「給食だより」や「保健だより」で、その大切さを家庭へも伝えていく。 朝ごはんの欠食は、中学生の時期だけでなく、将来大人になってからの健康にも影響を与えることを取り上げ、保護者や地域への積極的な情報発信を行っていく。
	B3 教職員は、給食後の歯磨きを生徒に呼びかけている。 【数値指標】 「先生方は、給食後の歯磨きを生徒に呼びかけてくれている」 生徒の肯定的回答 80%以上	養護教諭と担任とが連携を図り、歯磨き指導の強化に努める。 地域学校園で、小・中が一貫して個々の健康・増進に努める。	B 【達成状況】 生徒肯定率 77%で目標の 80%には到達していない。生徒 13%・保護者 12.5%と肯定的回答が共に大きく上昇している。教職員は 10%以上下降している。 【次年度の方針】 小中の協力で、H25 年度より 3 年をかけて歯磨き実施率 100%を目指しているその過渡期である。生徒たちは 1・2 年においては、生徒が自主的に歯磨きを行っているため、教職員の呼びかけが減少しているものと考えられる。 次年度は実施率 100%到達をめざし、年度当初に給食・保健委員会で協力して生徒への呼びかけを行う。 * 重点週間～小中連携しての呼びかけ ・ 6 月 歯と口の健康週間： かみかみ献立、保健だよりでの広報 ・ 11 月 いい歯の日

学 習	A 14 生徒は、授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している。 【数値指標】 先生方は、放課後や夏休みを利用して、学習相談を希望する生徒の支援をしてくれる。 生徒の肯定的回答 80%以上	部活動のない日や定期テスト前の放課後等、さらに長期休業中における学習相談会の機会を増やし充実させる。	A	A 1 4 生徒の肯定的回答 81.4% ○ 生徒の肯定的回答は昨年度より 0.5%高くなり、保護者の肯定的回答は 77.4%で昨年より 4.2%高くなっているが、教職員の肯定的回答は 55.6%と低い値になっている。 【次年度の方針】 ・「学習の 4 つのきまり」を確認し、授業中で徹底させると共に、授業において効果的な「話し合い活動」を取り入れ、話し合いの進め方や発表の仕方を多く経験することで、より積極的に学習できるよう工夫していく。
	A 15 生徒は、授業中先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している。 【数値指標】 生徒は、先生や友達の話をよく聞き、落ち着いて学習している。 生徒の肯定的回答 80%以上	「学業指導について」(県教委)職員間の周知徹底を図り、授業の工夫を図る。	B	A 1 5 生徒の肯定的回答 75.6% 生徒の肯定的回答は昨年度より 4%高くなっている。また、教職員の肯定的回答は 88.9%と市の肯定的回答より 2.5 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 ・引き続き「学業指導について」の職員研修を行い、充実させると共に、「学習の 4 つのきまり」を確認させ、授業中のルールを徹底させる。
	B 4 生徒は、読書の時間に進んで読書を行い、図書室を利用して読書量を増やしている。 【数値指標】 「本校の生徒は読書の時間に進んで本を読んだり、図書室や家庭で本に親しんだりしている」 生徒の肯定的回答 80%以上	ブックトーク等(図書委員会)による読書の啓発活動を推進する。 朝の読書の意義について全校の共通理解を図る。	B B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 74.3%と目標を達成できなかった。昨年度は教職員が肯定的解答が 97%と非常に高かったが、今年は 88.9%と 8.1%下降している。また、保護者も 53.2%と低い結果となった。 【次年度の方針】 朝の読書で内容の統一を図るなど、より朝の読書活動に対し、教職員間の共通理解を深める。また、保護者に読書の様子が伝わるよう図書だよりやホームページを通して、活動の様子を発信していく。
本 校 の 特 色 ・ 課 題 等	B 5 生徒は、主体的かつ継続的に家庭学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「本校の生徒は基本的な学習内容を身に付けるため、家庭でよく学習している」 生徒の肯定的回答 80%以上	自主学習ノートの提出による家庭学習の定着を図る。 各教科の課題の提出を徹底し、家庭学習の定着を図る。	B A	【達成状況】 生徒の肯定的回答 74.5%で昨年度より 4.0%上昇したが目標を達成できなかった。 【次年度の方針】 達成状況の大きな要因は、生徒たちの家庭学習状況が外からは見えにくいことだと考えられる。そのため、国語・数学・英語の 3 教科から授業内容と連携した課題を出し、その課題に関する情報を、学期に 1 回程度ホームページに掲載することで地域住民へ発信する。

〔総合的な評価〕

「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・今年度の結果で特徴的なのが、教職員と生徒の肯定的回答で、A 3・A 8・A 9・A 1 0・A 1 1 が同じような結果になっている。これは、教職員と生徒が同じように感じているからだと考えられる。来年度は、この 5 つの項目について、生徒と共に改善に取り組んでいきたい。
- ・市の平均と比較すると、低い項目が多い中、肯定的回答が、教職員・保護者・地域住民・児童生徒全てで市中学校平均を上回っている項目が、今年度から新たに追加された A 5 の項目である。これは、本校がいじめの対応に積極的に取り組み、保護者や地域の方に情報を発信してきたからだと考えられる。
- ・学校独自のアンケート B 1 の「教職員は交通指導行い、生徒は交通マナーを守り交通事故防止に努めている」は、教職員・保

護者・地域住民・児童生徒とも、昨年度よりも向上し肯定的回答が高い数字であった。しかし、自転車の乗り方で地域の方から苦情が数件あったので、更に強化していきたい。

○地域学校園で共通して重点目標にあげている「あいさつ」と「言葉づかい」については、いずれも低い数字となり、小中連携して対応していきたい。

6 学校関係者評価

- ・年3回の地域協議会で、授業や給食の様子を参観しているが、生徒は落ち着いている。
- ・教師は子どもを良く見ている。(肯定的な見方ができている)
- ・いじめの対応や交通指導は、いずれも高い数字である。
- ・「あいさつ」や「言葉づかい」は、小学校でも指導している。その指導が中学校にも繋がるようにしていきたい。
- ・歯磨きは、中学2年生から小学校の指導を継続しているため、肯定的回答が高くなっている。今後も継続して欲しい。

7 まとめと次年度へ向けて(学校関係者評価を受けて)

「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・今年度、教職員の資質向上のための「授業力の向上」で全教職員が教科と道徳の授業を公開した。授業参観後に校内で授業研究会を実施し、お互いの授業の在り方について良いところや課題等を出し合い、授業力の向上を目指した。来年度は、更に充実させ、「わかりやすい授業」「授業での生徒の発表」「授業中先生や友達の話を聞く」などの項目が向上するようにしていきたい。
- ・来年度は、土曜授業やオープンクラスウィークに加えて学年保護者会での授業参観を実施し、保護者の方が授業を参観できる機会を増やし、より開かれた学校づくりを目指していく。
- ・いじめの対応や交通指導は、生徒の命に関わる重要な課題でもあるので、気を抜くことなく、引き続き指導していきたい。
- 地域学校園で共通して重点目標にあげている「あいさつ」と「言葉づかい」については、引き続き小中連携して児童生徒に定着するようにしていきたい。